

事業提案

事業者：株式会社松尾宮崎（宮崎県都城市高城町穂満坊518番地12）
資本金：100百万円 業種：輸送用機械器具製造業 従業員数：75名

事業名：スマート工場事業

クラウド IoT ロボット AI



AI、システム導入で工場内のオペレーションが最適化されている工場を目指す

事業者：株式会社松尾宮崎（宮崎県都城市高城町穂満坊518番地12）
資本金：100百万円 業種：輸送用機械器具製造業 従業員数：75名

【概要】

①システム導入による生産計画やプロセスの最適化

②生産から構内物流の自動化

【主な取組】

①生産活動に必要なリソース（材料・設備・作業者等）の最適化に向け、常に状況の把握を行い、的確な指示を展開できるシステムを導入する

②AMRを活用した製品トレイ集配の自動化、自動運搬機を活用した材料集配の自動化

【事業の目標】

（定性目標）

- 工場内の機器や生産設備、生産管理システムがネットワークでつながり、工場内のオペレーションが最適化されている工場を目指す

（定量目標）

- 情報セキュリティ対策（SECURITY ACTION宣言）について、「★★二つ星」を宣言
- 労働生産性3年後の伸び率3%以上目標

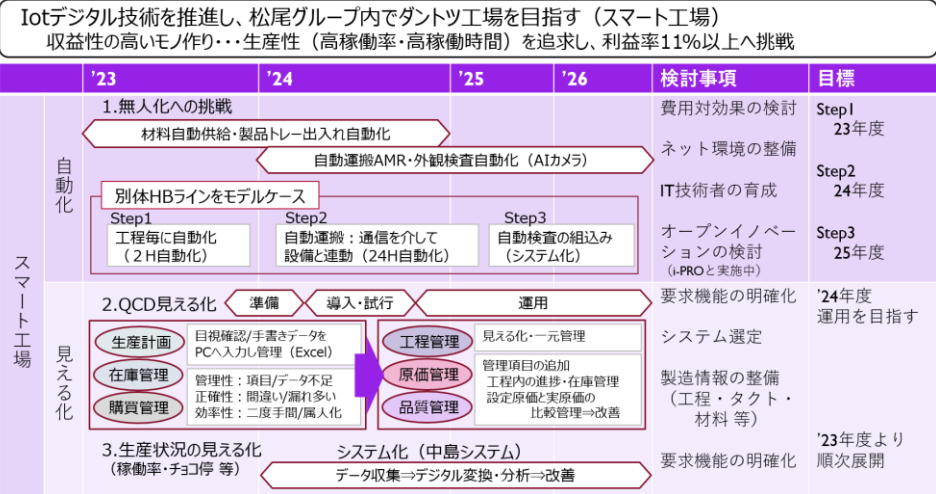
【取組を行う背景】

- 工場内の状態を見える化することで品質の向上・生産性の向上・少人化・コスト改善に繋げたい

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

- 今回のシステムを導入することで労働生産性が1年目は1.19%、2年目は1.11%、3年目は1.08%向上する。
- また、今後も改善を進める中でも「情報管理の効率化・生産活動の最適化」を軸に、今回導入するシステムと「情報が繋がる」スキームを構築していく。

改善活動～宮崎モデル～



【効果（成果）】

- 作業時間の削減
生産管理システム：25h/月
AMR：22h/月
- 生産実績の確認のリアルタイム化
- 手書き作業やデータ化する作業が減ることで作業の効率化と作業者のストレス軽減

【今後の課題】

- 生産管理システム・AMRのどちらも現在一部の製品のみの運用だが、全体で運用出来るよう環境の整備
- 今回導入した生産管理システムや社内の他のシステムとAMRを連携することにより、よりスマートな運用を目指す